4. 看護師に求められる実践能力と卒業時の到達目標（看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン 別表13より）

看護師の 実践能力	構成要素	卒業時の到達目標	
		番号	内容
I 群 ヒューマンケアの 基本的な能力	A 対象の理解	1	対象者の状態を理解するのに必要な人体の構造と機能について理解する
		2	胎生期から死までの生涯各期の成長・発達・加齢の特徴に関する知識をもとに対象者を理解する
		3	対象者を身体的・心理的・社会的・文化的側面から総合的に理解する
	B 実施する看護についての説明責任	4	実施する看護の根拠・目的・方法について対象者の理解度を確認しながら説明する
		C 倫理的な看護実践	5
	6		対象者の尊厳を守る意義を理解し、価値観、生活習慣、慣習、信条等を尊重した行動をとる
	7		対象者の情報の取扱い及び共有の方法を理解し、適切な行動をとる
	8		対象者の選択権及び自己決定権を尊重し、対象者及び家族の意思決定を支援する
	D 援助的関係の形成	9	対象者と自分の境界を尊重しながら関係を構築する
		10	対人技法を用いて、信頼関係の形成に必要なコミュニケーションをとる
		11	必要な情報を対象者の状況に合わせた方法で提供する
II 群 根拠に基づき、 看護を計画的に 実践する能力	E アセスメント	12	健康状態のアセスメントに必要な客観的・主観的情報を系統的に収集する
		13	情報を整理し、分析・解釈・統合し、看護課題の優先順位を判断する
	F 計画	14	根拠に基づき対象者の状況に応じた看護を計画する
		15	看護計画の立案にあたって、対象者を含むチームメンバーと連携・協働する必要性を理解する
	G 実施	16	計画に基づき看護を実施する
		17	対象者の状況に合わせて、安全・安楽・自立/自律に留意しながら看護を実施する
	H 評価	18	実施した看護の結果を評価し、必要な報告を行い記録に残す
		19	評価に基づいて計画の修正をする
	III 群 健康の保持増進、 疾病の予防、健康の 回復にかかわる 実践能力	I 健康の保持・増進、疾病の予防	20
21			環境が健康に及ぼす影響と予防策について理解する
22			対象者及び家族に必要な資源を理解し、健康の保持・増進に向けた生活に関する支援を行う
J 急速に健康状態が変化する 対象への看護		23	急速に健康状態が変化する(周術期や急激な病状の変化、救命救急処置を必要としている等)対象の病態や、治療とその影響について理解する
		24	基本的な救命救急処置の方法を理解し、模擬的に実践する
		25	健康状態の急速な変化に気づき、迅速に報告する
		26	合併症予防のために必要な看護を理解し、回復過程を支援する
		27	日常生活の自立/自律に向けた回復過程を支援する
K 慢性的な変化にある対象への看護		28	慢性的経過をたどる人の病態や、治療とその影響について説明する
		29	対象者及び家族が健康問題に向き合う過程を支援する
		30	健康課題を持ちながらもその人らしく過ごせるよう、生活の質(QOL)の維持・向上に向けて支援する
		31	急性増悪の予防・早期発見・早期対応に向けて継続的に観察する
L 終末期にある対象への看護		32	終末期にある対象者の治療と苦痛を理解し、緩和に向けて支援する
		33	終末期にある対象者の意思を尊重し、その人らしく過ごせるよう支援する
	34	終末期にある対象者及び家族を多様な場においてチームで支援することの重要性を理解する	
IV 群 ケア環境と チーム体制を理解し 活用する能力	M 看護専門職の役割と責務	35	看護職の業務を法令に基づいて理解するとともに、その役割と機能を説明する
		36	看護チーム内における看護師の役割と責任を理解する
	N 安全なケア環境の確保	37	リスク・マネジメントを含む医療安全の基本的な考え方と看護師の役割について説明する
		38	感染防止策の目的と根拠を理解し、適切な方法で実施する
		39	関係法規及び各種ガイドラインに従って行動する
	O 保健・医療・福祉チームにおける 多職種との協働	40	保健・医療・福祉チームにおける看護師及び他職種の機能・役割を理解する
		41	対象者をとりまく保健・医療・福祉関係者間の協働の必要性について理解する
		42	対象者を含むチームメンバーと連携・共有・再検討しながら看護を実践する
	P 地域包括ケアシステムにおける 看護の役割	43	地域包括ケアシステムの観点から多様な場における看護の機能と役割について理解する
		44	日本における保健・医療・福祉の動向と課題を理解する
		45	諸外国における保健・医療・福祉の動向と課題を理解する
V 群 専門職者として 研鑽し続ける 基本能力	Q 継続的な学習	46	看護実践における自らの課題に取り組み、継続的に専門職としての能力の維持・向上に努める必要性と方法を理解する
	R 看護の質の改善に向けた活動	47	看護の質の向上に努める必要性を理解する
		48	看護実践に新たな技術やエビデンスに基づいた知見を活用し、批判的吟味をすることの重要性を理解する